

I 運営理念

安 全 ・ 安 心 ・ ゆ と り

- 一 在宅、施設にかかわらず、介護を必要とする方々のかけがえのない命を尊重し、心が落ちついて生活できる介護サービスを提供します。
- 一 利用者、家族、職員がお互いに信頼関係を築き、気がかりなく、安心感に包まれた、心が落ちつく生活環境をつくります。
- 一 心にゆとりをもち、一人ひとりがその人らしく、おだやかな生活を送ることができる環境を整えます。

我が国の総人口は1億2451万人（R5.7.1現在総務省統計局発表人口推計）で、前年比60万8千人の減少となっています。うち15～64歳の人口は、7401万5千人で、前年に比べて26万9千人減少の一方、75歳以上人口は1991万5千人で、前年に比べて75万5千人増加しています。26年後の2050年には1億400万人となり、東京を除くすべての道府県で減少する見通しであり、今後人口減を前提とした社会制度の再構築が急務となっています。

全国的な少子高齢化の推移に対し、当法人が運営の基盤としている福島県北地方における近隣市町の高齢化率（R5.12.1福島県推計人口による）は、福島市31.8%、伊達市37.5%、桑折町38.5%、国見町44.0%、川俣町45.0%となっており、少子高齢化と人口減少が進んでいます。今後さらにより急速な少子高齢化が進み、担い手となる20～64歳世代の急激かつ大幅な減少が見込まれ、75歳以上の高齢者は大きく変わらないものの、2030年代半ばには減少に転ずることが予測されています。

このように、高齢者が増え、現役世代が減少することで、経済成長の鈍化、深刻な人材不足、医療・介護の需給バランスの深刻化、年金財政の行き詰まりなど、国内経済や社会保障制度の維持が危機的状況に陥るなど様々な問題が生じるのが2040年問題です。

これらの課題に対しては、DX（デジタルトランスフォーメーション）やICTの活用により、生産性の向上や、多様な就労・社会参加をすすめ、女性や高齢者などの潜在労働力の活用と多様な働き方の確立などが求められているといえます。

さて、2024年の国の介護報酬改定の4つの柱は、「地域包括ケアシステムの深化・推進」「自立支援・重度化防止に向けた対応」「良質な介護サービスの確保に向けた働きやすい職場づくり」「制度の安定性・持続可能性の確保」とされ、

具体的には「医療と介護の連携の推進」「看取りへの対応強化」「感染症や災害への対応力向上」「L I F Eを活用した質の高い介護」「生産性の向上等を通じた働きやすい職場環境づくり」など125項目が示されており、法人施設においてもこれらの取り組みを進めてまいります。

新型コロナウイルスは、令和5年5月に感染症法上5類に移行されたものの、依然として感染拡大が続いていることから、インフルエンザや他の感染症と同様、引き続き感染対策を徹底していく必要があります。

また、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化と円安の影響から、エネルギーや原材料価格の高騰など、記録的な物価高をもたらし、当法人の経営にも深刻な影響が続いています。

高齢者介護施設を取り巻く経営環境が厳しい状況の中、令和6年度においては、当法人の設立目的、意義、使命を再認識し、信達地域において高齢者の心よりどころとしていかなければなりません。また身近な施設として、高齢者が求める介護サービスを提供するため組織一丸となり、心穏やかに過ごすことのできる施設づくりを目指し、多様な人材を確保育成するとともに、働く者にとって快適な職場環境の実現と処遇改善や休日の確保・時間外勤務の削減など労働条件の改善を図り、健康な職場づくりを推進していきます。また介護ロボットやICTを活用するなどしてサービスの生産性の向上を図り、地域にとって必要な高齢者介護サービスを継続的に提供できるよう長期にわたって安定した経営の維持に取り組みます。

II 経営改善の重点

令和6年度から令和8年度を目標期間とする第2次経営改善計画の初年度となります。持続可能な経営をめざし、将来を見据えた事業経営戦略づくり、安定した財務管理、人材の確保と育成など、総合的な経営能力の向上を図ります。

〔重点事項〕

◇第2次経営改善計画の進行管理・見える化

経営改善計画目標達成のため、進捗状況の管理に努め共有化を図ります

◇安定した経営の推進

各種加算取得の取組及び利用者の確保などを通じ収入確保に努めます

◇人材の確保と育成

介護職員等の処遇改善と多様な就労機会の確保に努めます

介護・看護職員の確保、高齢職員及び介護助手の活用を図ります

外国人労働者を含めた多様な人材の活用を図ります

◇事務・業務改善による職場環境の整備

事務・業務見直し及びICT導入による業務の効率化、生産性向上を図ります

Ⅲ 事業計画

1 尊厳に根ざした介護とサービスの質の向上

(1) 利用しやすい施設づくりと利用者の拡大

利用者とその家族にとって利用しやすい施設づくりと、利用者の尊厳を保持しその人らしく生活できる介護サービス提供を行い、利用者の拡大を図ります

- 利用者の拡大に向けて利便性やサービス向上への取り組み
- 利用者等の要望や改善に向け、利用者・家族満足度共通調査を実施
- 居宅介護支援事業所及び地域包括支援センター等と定期的な情報交換を行い、多様な要望に対応できるサービスの向上

(2) 質の高いサービスの提供

専門職によるチームケアで、その方の持っている力を最大限発揮できるよう全面的に支援します

- 要介護度や生活歴に配慮した介護支援計画に基づく、科学的介護の取り組み
- リハビリの充実や認知症への的確な対応など課題への取り組み
- 積極的な研修の受講やスキルアップに取り組み、総合的に質の高い介護の実践

2 人材の確保と職員の成長を促す人材育成

(1) 人材確保と人事管理制度の構築

将来的に不足が懸念される職員の確保に長期的視野で取り組むとともに、高齢職員の活用及び介護助手制度の導入等を通じて人材豊かな職場づくりをすすめます

- 人事評価制度の再構築
- 職員の定数管理及び定数に基づく採用計画立案と採用活動
- 中途採用者向け制度運用の再構築と就職説明会・職場見学会の定期開催
- 高齢職員・外国人労働者の活用と介護助手制度の導入による職場環境の条件整備

(2) 職員の成長を促す人材育成

職員の成長は、法人・施設の持続的発展に不可欠であり、職員研修、業務改善プロジェクト等の実施により、職員が自らの力量を高める組織づくりを進めます

- 採用時研修、新任研修、役職別研修、その他専門研修等の計画・実施
- 職員の経営参画を促す観点から若手職員による業務改善提案プロジェクトチームの活動支援
- 新採用職員の定着をはかるプリセプター制度の充実
- ハラスメント対策及びメンタルヘルス支援体制の構築

- 業務改善による業務の効率化とワークライフバランス（仕事と生活の両立）の実現
- 「えるぼし認定」事業所として女性活躍の取組継続とともに、男女とも活躍できる職場づくりの推進

3 持続可能で未来志向の経営管理

(1) 持続可能な財務運営

収入見込みを適切に把握し、支出の節減を通じて、経営成績と財政状態を把握し、経営に役立てます

- 月次試算表の分析により経営状況を把握し、的確な経営予測の実施
- 利用拡大による稼働率の向上と介護保険制度改正に伴う各種加算の適切な取り組み
- 長期修繕計画に基づく施設設備等改修計画の策定
- 契約の見直しと一括契約及び消耗品等の在庫管理等による効率化と経費節減
- 長期的視点に立った財政計画に基づいた施設、設備や備品等の整備

(2) 地域社会におけるつながりづくり

法人及び施設を地域の方々に知っていただくために積極的に情報を発信し、あわせて災害等発生時には地域と協力し、地域の一員として被害の拡大を防ぎます

- 災害対策及び事業継続計画（BCP）訓練の実施と計画の見直し
- 行政及び消防団、各種ボランティア団体等地域諸団体との連携
- SDGsの趣旨に沿った事業の展開
- ホームページ、SNSによる情報発信力の強化
- 介護への理解を深め、就職につなげる職場体験、ボランティア受入

【法人本部の重点項目】

(1) 進捗管理

- ・経営改善計画、事業計画の進捗管理
- ・長期修繕計画及び施設設備更新計画の進捗管理

(2) 経営基盤の強化

- ・経営シミュレーションの作成及び運用
- ・経費の削減と補助金、助成金の活用
- ・予算管理の徹底

(3) 人材の確保と育成

- ・採用の一元化及び研修計画の作成と実施
- ・ハラスメント対策、メンタルヘルス対策の実施

(4) 業務改善の実施

- ・業務改善プロジェクトの実施
- ・ICTの導入・活用促進と業務改善
- ・マニュアルの整備によるサービスの標準化

令和6年度あつきし荘事業計画

1 全体

あつきし荘は桑折町・国見町の方が多く利用されていますが、桑折町の調査では在宅で介護サービスを受けている方の4割近くが認知症を抱えているとの結果が出ています。認知症状を有する本人や家族の悩みに寄り添い、介護を必要とする方に安全で最適な対応をするために施設設備の修繕・更新を行うとともにICT・見守り支援システム等の効果的な活用により、質の高い介護を推進します。

【目標数値】

| 目標数値 | | 令和4年度実績 | 令和5年度見込 | 令和6年度目標 |
|-------|-----------|---------|---------|---------|
| 平均稼働率 | 特別養護老人ホーム | 98.3% | 98.2% | 99.0% |
| | ショートステイ | 75.0% | 79.2% | 80.0% |

2 特別養護老人ホーム

(1) 介護

認知症状のある方が落ち着いて過ごせるよう、利用者の生活歴を踏まえた居室の環境作り（物の配置、飾り付け等）を行います。

ICT・見守り支援システムを活用して効率化を図り、利用者に向き合う時間を増やし、レクリエーションや外出、外食、花見などの外出の機会を拡充します。

職員の内部研修を実施し、介護技術の向上を図り、利用者が安全に安心して過ごせるよう努めます。

【目標数値】

| 目標計画 | 令和4年度実績 | 令和5年度見込 | 令和6年度目標 |
|------------------|----------------------------|-----------------------------------|---|
| 認知症介護の知識習得 | マニュアルの学習 県認知症介護研修受講（2名） | マニュアルの学習 県認知症介護研修受講（3名） | マニュアルの学習 県認知症介護研修受講（3名） |
| 集団・個別レクリエーションの実施 | 1. 9回/週 | 3. 2回/週 | 3. 5回/週 |
| 介護技術講習の開催 | 職員個別OJT （随時） | 全職員研修1回 入職5年以内職員対象技術指導 （随時） | マニュアルに沿ったフロアごとの研修3回、入職10年未満職員対象移乗技術指導（随時） |

(2) 看護

看取り介護では、人生ノートの活用や多職種でのカンファレンスを充実させ、また、医師・家族との連携を密にして本人の意向に沿ったケアを行います。

日々の標準予防策を徹底し、利用者、職員の感染症罹患を予防します。また、感染症発生時は感染症BCPを基に迅速に対応し、施設内での感染拡大を防止します。

【目標数値】

| 目標計画 | 令和4年度実績 | 令和5年度見込 | 令和6年度目標 |
|-----------------------|-----------------|---------------|---------------|
| 看取り介護における利用者・家族の意向の把握 | ACP（人生会議）の体制づくり | 人生ノートの完成 | 人生ノートの活用 |
| 感染症予防対策の強化 | 感染症発症時におけるBCP策定 | 感染症別マニュアルの見直し | 感染症BCP訓練（年2回） |

※人生ノートとは、日々の特養での暮らし（介護）や医療に関する本人の意向を定期的に把握・記録し多職種で共有できるようにするためのツールです。本人が大切にしていること、どこでどんな最期を迎えたいかなどを入所時に記入してもらい、定期的に確認し合いながら、その人らしい最期を迎えられるよう支援します。

（3）生活相談

入所申込者の面接調査を早期に行い待機者を確保し、家族やケアマネ等との連絡をこまめに行うことで、空床期間を短縮します。

また、多職種が連携して利用者の体調変化の早期発見、早期治療で重症化を予防し入院に至らないよう努め、入院の場合には病院相談員との密な連絡により情報を得て、退院に向けての準備や入院中の空床利用を進め、目標稼働率99.0%の達成を目指します。

ご家族へ近況や体調をこまめにわかりやすく伝え、相談・苦情・要望に対しては迅速かつ適切に対応します。

【目標数値】

| 目標計画 | 令和4年度実績 | 令和5年度見込 | 令和6年度目標 |
|-----------------|-------------------------------|-----------------------|--------------------------|
| 入所までの空床期間（平均） | 10.6日 | 9.8日（1月現在） | 8日以内 |
| 相談援助・苦情対応スキルの向上 | 外部研修派遣（相談援助面接1名、施設ケアマネ1名）係内研修 | 係打合せ（毎月1回）事例検討・内部研修4回 | 係打合わせ（週1回）、事例検討・内部研修（毎月） |

（4）機能訓練

歩行訓練、関節可動域訓練、ホットパック等を中心に、定期的にリハビリを実施し、介護士と協力して生活リハビリを行い、心身機能の維持に努めます。

【目標数値】

| 目標計画 | 令和4年度実績 | 令和5年度見込 | 令和6年度目標 |
|---------------------|---------|------------------|----------------|
| リハビリの実施 | — | 個別週1回 集団月1～2回 | 個別週1回 集団月2回 |
| 多職種間の情報共有（ポジショニング等） | — | 不定期 | 月3回 |

（5）栄養管理

安全でおいしい食事や季節に応じた行事食を提供し、食事の時間を楽しくするように支援します。

栄養ケアマネジメントにより、個人の状態に合った適切な形態の食事での口からの摂取を維持し、低栄養予防に努めます。

【目標数値】

| 目標計画 | 令和4年度実績 | 令和5年度見込 | 令和6年度目標 |
|-----------|---------|---------|---------|
| 季節の行事食 | 月1～2回 | 月1回 | 月1回以上 |
| 低栄養リスク者割合 | 15% | 11% | 10%以下 |

(6) 総務管理

長期修繕計画に基づく建物・設備の整備を進め、適正な保守管理により利用者の安全と快適な居住環境の維持・向上に努めます。

適正な支出管理、効率的かつ効果的な業務の見直しによる経費節減に努め、持続可能な施設運営を目指します。

災害対策及び事業継続計画（BCP）に基づく訓練を実施し、自治体等地域関係団体と連携して有事に備えます。

5日間連続休暇の全員取得を継続するとともに、見守り支援システムの活用等により職員の心身の負担軽減を図り、働きやすい職場づくりに取り組みます。

【目標数値】

| 目標計画 | 令和4年度実績 | 令和5年度見込 | 令和6年度目標 |
|-----------------|--|--|--|
| 設備機器等更新・ICT導入状況 | タブレット4台追加 ナースコール入替 (見守り機能・インカム) | ボイラー入替 受水槽入替 オイルタンク修繕 福祉車両整備 厨房機器入替 見守りセンサー内蔵 ベッド導入11台 | 特殊浴槽入替 |
| BCPに基づく訓練の実施 | 訓練1回 | 訓練1回 研修1回 | 訓練2回 研修1回 |
| 職員の心身のストレス軽減 | 連続休暇の取得率 100% インカム・見守り 支援システム導入 | 連続休暇の取得率 100% ストレスチェック 高ストレス者の割合 17.9% | 連続休暇の取得率 100% ストレスチェック 高ストレス者の割合 13.0% |

3 ショートステイ

居宅介護支援事業所に対して事業所案内や空床案内を行い、新規利用者の獲得や緊急時の受入れ、定期的な利用の継続につながるよう努めます。

利用者・家族の希望に沿った受入れや、認知症状・身体状態に応じた介護を提供し、家族やケアマネと情報共有することで在宅生活が継続できるよう支援します。

【目標数値】

| 目標計画 | 令和4年度実績 | 令和5年度見込 | 令和6年度目標 |
|----------------------------|------------------------------------|---|---|
| 利用実人数 | 月平均21.2人 | 月平均25人 (1月現在) | 月平均26人 |
| ケアマネへの空床情報・サービス内容についての情報提供 | 月2～3回 | 月2回 | 月3回 |
| 満足度調査の実施 | 家族1回 居宅事業所1回 家族対象の回収率 55% | 家族1回 居宅事業所1回、 聞き取り随時 家族対象の回収率 44% | 家族1回 居宅事業所1回、 聞き取り随時 家族対象の回収率 75% |

令和6年度梁川ホーム等事業計画

1 全体

梁川ホームの位置する伊達市は高齢化率が高く、後期高齢者（75歳以上）においては人口割合が20%を超え、介護サービスの需要は高まる状況にあります。施設・在宅の多方面から生活を支える事業所としての役割を果たしていくためには、安定した経営と職員の確保・定着による質の高い介護が求められます。そのために経営改善計画に基づく着実な経営及び、介護ロボット・ICTの導入活用や職員研修の充実、各事業所の連携による利用者のニーズに合わせたサービスの提供をまいります。

【目標数値】

| 目標計画 | | 令和4年度実績 | 令和5年度見込 | 令和6年度目標 |
|-------|-----------|---------|---------|---------|
| 平均稼働率 | 特別養護老人ホーム | 97.0% | 97.8% | 98.0% |
| | ショートステイ | 66.7% | 77.0% | 78.0% |
| | デイサービスⅠ型 | 76.4% | 79.0% | 80.0% |
| | デイサービスⅡ型 | 55.0% | 52.0% | 58.5% |
| | ケアハウス | 87.4% | 87.0% | 87.8% |

2 特別養護老人ホーム

(1) 介護

利用者満足度の向上に向けて、ICTの活用や業務改善により、利用者・職員ともに安心して事故防止につながるケア・利用者との時間を生み出すケアに取り組み、季節ごとの行事開催やレクリエーション、個別の対応などの充実を図ります。また、研修を通して職員の資質向上と認知症への理解と対応力を高めます。

【目標数値】

| 目標計画 | 令和4年度実績 | 令和5年度見込 | 令和6年度目標 |
|---------------|---------|------------------|------------------|
| 集団レクリエーションの実施 | 全体月2.5回 | 全体 月1回 通り 月1回 | 全体 月1回 通り 月2回 |
| 内部研修会（介護技術） | 1回/年 | 2回/年 | 2回/年 |

(2) 看護

基本的な感染対策として手洗い消毒を徹底するほか、近隣の感染情報を素早く共有し、持ち込まない・拡げない意識づけを継続し、感染予防・まん延防止の徹底を図る。

利用者の体調変化の早期発見と早期対応に努めて協力病院との連携を密に図りながら健康管理を行い、各職種による記録の充実と情報共有、必要に応じたカンファレンスを行い安心できる看護を提供する。

【目標数値】

| 目標計画 | 令和4年度実績 | 令和5年度見込 | 令和6年度目標 |
|----------|---------|---------|---------|
| 感染症研修・訓練 | 4回 | 3回 | 4回 |
| 入院者数 | 9名 | 12名 | 10名以下 |

(3) 生活相談

入所待機者の状態把握を定期的に行うとともに、待機者や家族の相談に丁寧に応じることでニーズに寄り添い、速やかな入所につなげます。

入所者の心に寄り添い、利用者家族へ細やかな情報を伝え、相談しやすい雰囲気作りと真摯に向き合う姿勢で、豊かな関係が築けることを目指します。

【目標数値】

| 目標計画 | 令和4年度実績 | 令和5年度見込 | 令和6年度目標 |
|--------------|----------|-------------------|-------------------|
| 入所までの空床期間 | 平均16.7日 | 平均9.8日 | 平均10日以内 |
| 相談援助苦情対応力の向上 | 外部研修参加2回 | 外部研修参加2回、内部研修各月実施 | 外部研修参加2回、内部研修各月実施 |

(4) 機能訓練

利用者の要望や状態に応じた個別の計画に基づく機能訓練を実施し、身体機能の維持・向上を図るほか、適切な介護用品を選定し、安心して生活できるように環境整備を行います。またベッド上、車いす上での良肢位を保持することで転倒・転落による外傷を予防するとともに、褥瘡ゼロを目指します。

【目標数値】

| 目標計画 | 令和4年度実績 | 令和5年度見込 | 令和6年度目標 |
|-----------|----------|----------|---------|
| 集団リハビリの実施 | 平均5.3回/月 | 平均3.3回/月 | 平均6回/月 |
| 褥瘡の発生 | 5件 | 0件 | 0件 |
| 骨折事故の発生 | 3件 | 3件 | 0件 |

(5) 栄養管理

ミールラウンドによる利用者の要望や健康状態をこまやかに把握し、栄養マネジメントをより充実させていきます。また、クックチル導入により給食業務の効率化を進め、嚥下困難・看取りへの素早い対応もできる柔軟な体制を築きます。食中毒予防・非常時対策マニュアルの見直しや事故・ヒヤリはっと報告の活用を行いつつ、温かい適温での食事提供、衛生管理の徹底も含めた総合的な栄養管理を行います。

【目標数値】

| 目標計画 | 令和4年度実績 | 令和5年度見込 | 令和6年度目標 |
|------------|---------|---------|---------|
| ミールラウンドの強化 | 週1回 | 週3回 | 週4回 |
| 誤嚥性肺炎の発症者 | 0名 | 2名 | 0名 |

(6) 総務管理

持続可能な施設運営を図るため適正な予算管理と効率的な備品管理により経費節減に努めるとともに、施設設備の更新計画に基づき適切な保守管理を行います。また、ICTや介護ロボットの活用により業務の効率化と職員の負担軽減を図ります。さらに、災害や感染症が発生した場合でも利用者に必要なサービスが安定的・継続的に提供できるよう、事業継続計画（BCP）の訓練及び必要に応じより精度の高い見直しを進めていきます。

【目標数値】

| 目標計画 | 令和4年度実績 | 令和5年度見込 | 令和6年度目標 |
|----------|--|--|------------------------------------|
| 時間外勤務の削減 | 370時間/月 | 377時間/月 (前年度比 1.89%増) | 339時間/月 (前年度比 10.0%減) |
| 施設設備の整備 | エアコン(ダイ II型)更新、多床 室簡易個室化工 事、タブレット 等の購入 | Wi-Fi環境 整備、共用トイレ 改修、非常照明 バッテリー交 換、非常放送設 備更新等の工事 | ナースコール更 新(見守り支援 システムの導 入) |

3 ショートステイ

利用者・家族の希望に応じた受け入れ及び利用者本位の介護に努め、安定した在宅生活が継続できるよう、生活上の支援やレクリエーションなどを提供し、心身機能の回復を促します。

令和4年度より進めてきた居室の簡易個室化、トイレ改修、Wi-Fi環境の整備を行ったことでより快適に過ごせる環境になったことを地域・居宅介護支援事業所・家族等に広くお知らせし、利用者の定着と新規利用の獲得に取り組めます。

【目標数値】

| 目標計画 | 令和4年度実績 | 令和5年度見込 | 令和6年度目標 |
|-----------|---------|---------|---------|
| 利用実人数(毎月) | 48人 | 49人 | 50人 |
| 新規利用者受入れ | 月3名 | 月3名 | 月4名 |
| 空き情報の発信 | 月2回 | 月2回 | 月2回 |

4 デイサービスセンター

感染症や介護技術等の内部研修を定期的に行い、正しい知識や対応方法をもとに引き続き利用者が安全、安心に利用できるようにします。また、認知症予防等につながるアクティビティを提供するとともに、下肢筋力を維持する体操や拘縮予防運動等を行い、在宅生活を維持できるように支援します。

ICT機器を活用し居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等へ提供しているサービス内容や情報を効率的にお知らせする事で(デイ便り月1回、空き情報月1回発行)、新規利用者獲得と利用の定着を図り、選ばれる事業所を目指します。

| 目標計画 | 令和4年度実績 | 令和5年度見込 | 令和6年度目標 |
|---------------|---------|---------|---------|
| 外部研修参加、内部研修開催 | 4回/年 | 4回/年 | 5回/年 |
| 介護予防体操の実施 | 不定期実施 | 不定期実施 | 毎日 |

5 ケアハウス広瀬

入居者が心身ともに健康に生活できるよう健康状態の把握に努めるとともに家族との連携を密にし、必要時にスムーズな受診ができるよう支援します。

多職種が連携し精神的・身体的な不安や悩みを相談できる環境を整え、自立した生活が継続できるよう支援しながら、外出や毎月の行事に参加して頂くことで入居者同士の親睦を深めるように努めます。

【目標数値】

| 目標計画 | 令和4年度実績 | 令和5年度見込 | 令和6年度目標 |
|-----------|------------|------------|----------------------------------|
| 外出する機会の提供 | 年1回 | 年3回 | 年4回 |
| 毎月の行事の充実 | 集合形式の行事は3割 | 集合形式の行事は5割 | 集合形式で行事を行う。内容をホームページに掲載し情報発信を行う。 |

6 梁川ホーム指定居宅介護支援事業所

利用者や家族からの相談に対して迅速丁寧に対応し、信頼関係の構築に努めます。また、アセスメント力向上と医療・各事業所との連携を強化し、利用者が住み慣れた地域で生活が送れるよう支援に努めます。

【目標数値】

| 目標計画 | 令和4年度実績 | 令和5年度見込 | 令和6年度目標 |
|----------------|---------|---------|---------|
| 請求件数 | 136件/月 | 141件/月 | 160件/月 |
| サービス内容の確認・振り返り | 4回/月 | 4回/月 | 4回/月 |
| 地域活動への参加 | 1回/月 | 1回/月 | 1回/月 |

7 伊達市梁川地域包括支援センター

高齢者の生活上の困りごとに対し適切なサービスが包括的、効率的に提供されるよう支援します。また、認知症カフェを開催し気軽に話しができる場、相談ができる場の提供と地域住民の認知症に対する理解を深め、偏見をなくせるよう支援します。

地域の課題に対しては地域ケア会議を開催し、梁川地区の地域支援連絡会で協議していきます。さらに高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、行政や各関係機関と連携を密にとり支援していきます。

【目標数値】

| 目標計画 | 令和4年度実績 | 令和5年度見込 | 令和6年度目標 |
|--------------------|--------------|------------------------------|------------------------------|
| 相談実績 | 188件/月 | 195件/月 | 195件/月 |
| 認知症カフェ開催 | 4回/年 | 4回/年 | 4回/年 |
| 地域ケア会議 | 1回/年 | 1回/年 | 1回/年 |
| 介護保険や認知症の理解促進、普及活動 | 社協主催の地域活動に協力 | 出前講座、認知症サポーター養成講座の開催、地域活動の協力 | 出前講座、認知症サポーター養成講座の開催、地域活動の協力 |

令和6年度川俣ホーム事業計画

1 全体

川俣町内は、高齢者世帯や独り暮らしの割合が、要介護認定者で約4割を占めるなど増加傾向にあります。地域に必要な支援と、提供するサービスのマッチングを図り、ニーズに対応可能な事業所を目指していきます。認知症介護の重要性、感染症、災害BCP策定による定期訓練の実施などを確実に進めていき、利用者本位の介助、迅速な対応体制の確保に努めます。また、計画的施設整備、コスト削減による経営の安定と、接遇意識の徹底により質の高いサービスを継続して提供していきます。

【目標数値】

| 目標計画 | | 令和4年度実績 | 令和5年度見込 | 令和6年度目標 |
|-------|------------|---------------------------|---------------------------|------------------------|
| 平均稼働率 | 特別養護老人ホーム | 97.0% | 98.2% | 98.5% |
| | ショートステイ | 78.0% 特養措置1名分 除き14床 | 84.3% 特養措置1名分 除き14床 | 80.0% 特養措置含め 15床 |
| | デイサービス I型 | 77.0% | 81.2% | 83.0% |
| | デイサービス II型 | 58.7% | 66.5% | 66.5% |

2 特別養護老人ホーム

(1) 介護

利用者が季節を感じ、日々穏やかに、楽しく過ごして頂けるよう、工夫を凝らした行事を企画、開催します。身体介護の面では特に誤嚥性肺炎予防として口腔ケアに重点を置き、歯科医協力の下、定期的な勉強会を開催することで、口から安全に食べることが継続できるように努めます。また、高齢者虐待防止に努め、職員同士で情報共有し接遇向上につながるような、安全・安心なサービスを提供します。

【目標数値】

| 目標計画 | 令和4年度実績 | 令和5年度見込 | 令和6年度目標 |
|-----------------------|---------|---------|---------|
| 季節を感じながら楽しんで頂ける行事の実施 | 不定期に実施 | 1回/月 | 1回/月 |
| 口腔ケアの定期的な勉強会・職員への研修実施 | 2回/年 | 2回/年 | 2回/年 |
| 接遇の取り組みについてのアンケート調査回数 | — | — | 2回/年 |

(2) 看護

日々の利用者の健康状態の把握、定期健康診断の実施、日常の協力病院との連携により、異常の早期発見、早期対応に努めます。また、利用者の看取り期、体調不良などにも、利用者の意向や家族の気持ちに柔軟に対応します。感染症

対策においては、施設全体で最新の情報の収集と、職員への周知による予防措置の実施に努め、発症時においても、感染症BCPに基づき速やかな対応を図ります。

【目標数値】

| 目標計画 | 令和4年度実績 | 令和5年度見込 | 令和6年度目標 |
|-----------------|---------|---------|---------|
| 感染症によるクラスター発生件数 | 1件 | 0件 | 0件 |
| 感染症BCP訓練 | 2回/年 | 3回/年 | 3回/年 |

(3) 生活相談

入所検討委員会で決定された順位に沿って上位待機者の実態調査を複数名進め、空床が出た際には速やかに入所を進め目標数値の達成を目指します。また、各職種でカンファレンスを通し、利用者の状態にあったケアプラン策定とサービス提供に努めます。昨今の家族の在り方の変化により、遠方にお住いのご家族へもこまめに利用者の状況をお伝えし、リモートでの面会も促すなどし、利用者とのつながりを保てるよう努めます。相談援助技術等の向上を図るため定期的な研修の実施、苦情や要望への迅速かつ適切な対応など、利用者、家族の思いに寄り添う相談支援に努めます。

【目標数値】

| 目標計画 | 令和4年度 | 令和5年度見込 | 令和6年度目標 |
|-----------------|--------|----------------------|--------------------|
| 入所までの空床期間 | 平均9.7日 | 平均4.6日 (12月31日現在) | 平均9日以内 |
| 相談援助・苦情対応スキルの向上 | 外部研修1名 | 外部研修 1名 係内研修 隔月 | 外部研修 1名 係内研修 隔月 |

(4) 機能訓練

利用者が安定した身体機能を維持できるよう日常の生活リハビリに重点を置き、専門的知識に基づいたエビデンスを多職種に伝達・共有することで利用者個々の生活スタイルに沿った個別指導を提供できるように努めます。機能訓練計画書の具現化、タブレットなどのデバイスを用いた視覚的アプローチを用い、情報共有、理解により利用者の達成感と家族の安心感につなげます。

【目標数値】

| 目標計画 | 令和4年度実績 | 令和5年度見込 | 令和6年度目標 |
|-----------------------|---------|---------|---------|
| 多職種で利用者への介助方法を共有 | 不定期に実施 | 1回/月 | 1回/月 |
| 個別機能訓練実施の様子を計画書送付時に添付 | — | 30名 | 35名 |

(5) 栄養管理

提供方式が業者委託からクックチル方式となりましたが、引き続き安全・安心な食事の提供、衛生管理の徹底に努めます。利用者が健やかに過ごせるように、栄養ケア会議を通して、各職種で日々の利用者の観察と、低栄養防止・改善に取り組みます。また、災害時においても滞りなく食事の提供ができるよう、

常日頃から非常食の整備を行います。季節の移り変わりが身近に感じとれるような、日本の風習や食に関する行事・イベントを実施し、食に関する楽しみを提供します。

【目標数値】

| 目標計画 | 令和4年度実績 | 令和5年度見込 | 令和6年度目標 |
|-----------------|---------|---------|---------|
| 経口維持計画書作成 | 58%/65人 | 66%/65人 | 70%/65人 |
| 食に関する行事・イベントの実施 | 2回/年 | 5回/年 | 5回/年 |

(6) 総務管理

財務管理においては、経常経費の削減に努め健全な財務運営を図り、定期的な施設保守点検や長期修繕計画に基づく施設整備を行います。働きやすい職場環境の整備に努め、特に労務管理においては、職員のワークライフバランスに配慮し、休暇を取得しやすい環境に努めます。危機管理においては、災害時においても業務を継続できるよう災害BCPの定期的研修・訓練を行います。

【目標数値】

| 目標計画 | 令和4年度実績 | 令和5年度見込 | 令和6年度目標 |
|-------------|---------------|-------------------|--------------------|
| 経常経費の削減 | 前年度比 2.4%減 | 光熱費高騰により 前年度比増 | 前年度比3% 削減 |
| 施設設備の充実 | 車両等整備 | 特殊浴槽等整備 | 非常照明等防災 設備整備 |
| 災害対応BCP研修訓練 | 防災訓練年2回 実施 | 防災訓練年3回 の実施 | BCP研修・訓 練年3回の実施 |

3 ショートステイ

住み慣れた地域や家庭において、いつまでも安心して過ごせるように、地域に必要とされるサービス事業所として地域福祉に貢献します。町内で在宅介護を行っている介護者の年齢で60歳以上が全体の8割以上となっており、老々介護の状況が深刻化する中、在宅介護を行う家族への支援も重要と捉え、ケアマネジャー、家族からの相談に真摯に対応します。さらに、身体・精神・認知機能面の低下予防、日常生活の自立度の向上に資するきめ細やかなサービスと温かみのあるケアを提供します。また、関係事業所、家族に利用者のレクリエーションや利用中の様子を写真等で視覚的に提供を行い、根拠あるサービス提供と安心につながるよう努めます。

【目標数値】

| 目標計画 | 令和4年度実績 | 令和5年度見込 | 令和6年度目標 |
|-------------------------|----------------|------------------|------------------|
| 利用実人数 | 35名/月 | 36名/月 (12月現在) | 38名/月 |
| レクリエーション・アクティビティ数(開催回数) | 1回/週 | 2回/週 | 2回/週 |
| 満足度調査結果 | 満足と回答 90.0% | 満足と回答 88.2% | 満足と回答 90.0%以上 |

4 デイサービス

高齢者が安心して住み慣れた地域で暮らせるよう、地域ケア会議、運営推進会議などを通じて地域状況の情報共有を図ります。

利用者の心身の状況と、暮らしの意向等を把握・理解し、利用者一人ひとりに応じた機能訓練や介護予防活動を行っていきます。また、認知症介護の専門的知識をより深めて職員のスキルの向上を図り、専門的ケアを提供できることを地域の皆様に知っていただき、認知症対応型の利用促進を図ります。居宅介護支援事業所、施設ご利用のご家族に対して、状態にあったサービスが選択できるようにタブレット等を使用し、利用者の過ごしている様子など映像を用いて具体的に伝えることで理解を深め利用につながるようにします。

【目標数値】

| 目標計画 | 令和4年度実績 | 令和5年度見込 | 令和6年度目標 |
|------------|--------------------|-------------------------------|--------------------|
| 利用実人数（Ⅰ・Ⅱ） | Ⅰ型38名／月 Ⅱ型27名／月 | Ⅰ型42名／月 Ⅱ型20名／月 (12月現在) | Ⅰ型43名／月 Ⅱ型25名／月 |
| 外出行事の実施 | コロナにより 中止 | 2回／年 | 2回／年 |
| 満足度調査結果 | 満足と回答 94.2% | 満足と回答 95.2% | 満足と回答 96.0%以上 |